

## 令和4年度認知症施策推進会議 議事要旨

日時：令和5年3月13日（月）19時00分～20時30分

場所：高知共済会館 3階「桜」

出席者：委員名13名（1名欠席）

事務局（在宅療養推進課）5名、須崎福祉保健所1名

### ○協議事項

- （1）令和4年度の実績及び令和5年度の実績予定について
- （2）若年性認知症自立支援ネットワーク部会における検討内容について
- （3）高知県認知症施策推進計画の見直しについて
- （4）その他

### ○議事等概要

- （1）令和4年度の実績及び令和5年度の実績予定について

#### 【報告】

- ・令和4年度の実績及び令和5年度の実績予定内容について報告を行った。

#### 【質疑・意見】

- ・委員より、認知症サポーター養成後の活動状況について質問があった。  
事務局より、認知症サポーターの活躍の場として、各市町村に本人と家族のニーズを支援する「チームオレンジ」の設置を進めていきたい旨回答した。
- ・委員より、かかりつけ医認知症対応力向上研修およびかかりつけ医認知症対応力向上フォローアップ研修の継続やオンデマンド配信について要望をいただいた。
- ・委員より、普及啓発の際には認知症の基本的な知識とともに、BPSDへの対応や認知症のケアについて情報共有できる「認知症ちえの輪ねっと」についての普及啓発も進めてほしい旨ご意見をいただいた。
- ・フレイルチェックアプリについて、薬局での展開の予定や、事業開始時期の目途について質問があった。  
事務局より、スケジュールとしては年度前半で開発、年度後半に各市町村の通いの場等で活用いただくことを想定している。今後の展開については、関係者と協議をしながら進めていく旨回答した。
- ・委員より、ICTを活用した見守り支援について、以下の意見をいただいた。
- ・家から出ないように見守りをするのではなく、認知症の方が家から出ていくことを支援するための活用として考えてほしい。
- ・GPS等見守り機器の啓発について、認知症の方には必ずGPSなどの見守り機

器が必要ということではなく、使用せずとも地域で元気に暮らしている方がたくさんいらっしゃることも伝えてほしい。

- ・見守り機器については、市町村が貸与するなどして試行的に体験できるようにすると活用が広がっていくのではないか。

## (2) 若年性認知症自立支援ネットワーク部会における検討内容について

### 【報告】

- ・若年性認知症自立支援ネットワーク部会における検討内容について報告を行った

### 【意見】

- ・委員より、若年性認知症の方の早期発見のためには、事業所への啓発が必要。特に、相談窓口となるような職員をサポートしている部署への働きかけが有効ではないか、と意見をいただいた。

## (3) 高知県認知症施策推進計画の見直しについて

### 【報告】

- ・高知県認知症施策推進計画の見直しについて説明を行った

### 【意見】

- ・生活をより良くするテクノロジーとして、例えばボイスレコーダーの活用が有効といわれている。これまでの施策に生活支援の観点もプラスして、高齢者が対応できるようなしくみを考えてほしい。

## (4) その他

### 【意見】

- ・認知症高齢者の方の免許返納の動きがあるが、免許返納後にも引き続き外出ができるよう、交通インフラ整備等の取組もあわせて必要である。
- ・警察署の方にも、認知症への正しい理解を得る研修会に参加してほしい。
- ・県の補助金を活用するにあたり、市町村事務を簡素化するなど、より活用しやすいものにしてほしい。